

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

ごしんこうぶきぎょうれつ

## 御神幸武器行列

新見市

高総早倉矢井浅里笠  
梁社島敷掛原口庄岡  
市市町市町市町市



かんけい ばしょ  
関係のある場所

ふなかわ はちまんぐう  
・船川八幡宮



ぎょうじ

### この行事について

ごしんこうぶきぎょうれつ つうしょう どげざ ほんぎょうれつ かつ  
「御神幸武器行列」は、通称「土下座まつり」ともいわれています。本行列は、10月15  
にち ふなかわ はちまんぐうしゅうきたいさい どうじつ みこし ごしんこう としき せんだう  
日の船川八幡宮秋季大祭の当日に神輿の御神幸の時にその先導となるものです。総勢64名  
からなる行列は、白熊と呼ばれる大槍、薙刀、鉄砲、弓、槍、大旗、馬印、沓篋、などが主体で、  
ぎょうれつ はくま よ おおやり なぎなた てっぽう ゆみ やり おおはた うまじるし くつかご しゅたい  
青竹を手にした2人を先頭に、「下に、下に」の大きい声とともに神社を出発し、一定の道を  
あおたけ て ふたり せんだう した した おお こえ じんじゃ しゅつぱつ いっぺい みち  
進んで船川八幡宮と宮地町を往復します。

まく は めく も しお きよ えんどう ひと ぎょうれつ ちか こし ひく でむか  
幕を張り巡らし、盛り塩で清めた沿道の人たちは、行列が近づくと腰を低くしてお出迎え  
をします。女性や子どもについては家の中の座敷の上でも良いとされています。人々が腰を  
ひく ぎょうれつ でむか こうけい つうしょう どげざ  
低くして行列をお出迎えする光景から、通称「土下座まつり」ともいわれます。

ぶきぎょうれつ ごろ はじ やく ねんまえ  
武器行列がいつ頃から始まったかについては、はっきりとしていませんが、約300年前の  
けんろく ねん ねん にいみ ほんしやたいほんしゅ せきながる ふなかわ はちまんぐう まつ  
元禄10年(1697年)、新見藩初代藩主となった関長治が、船川八幡宮のお祭りにおける  
けいび はじ けんざい どうじ ちゅうじつ けいしやう  
警備をさせたことが始まりとされ、現在もその当時のしきたりが忠実に継承されています。